



広報

Public Relations TATSUGO TOWN

9 No.446
2015
(平成27年)

たつぎょう



五穀豊穰を祈る

(秋名アラセツ行事)

旧暦8月最初の丙日、国の重要無形民俗文化財「秋名アラセツ行事」が行われました。町内外から大勢の見物客が訪れ、神聖な祭事を見届けました。同行事は「平瀬マンカイ」(上)、「ショチヨガマ」(下)を指します。

9月号の主な内容

特集「国文祭」	・・・P2～
まちの話題	・・・P4～
お知らせほか	・・・P6～
玉黄金	・・・P12

ひつとべ！かごしま国文祭

第30回 国民文化祭 かごしま2015

全国各地で行われている各種の文化活動を、全国的規模で発表・競演する国内最大の文化の祭典「国民文化祭」(国文祭)。昭和61年度(1986年度)から各都道府県持ち回りで開催されており、今年は初めて鹿児島県が会場となります。平成27年10月31日(土)から11月15日(日)までの16日間、県内全域で特色ある催しを展開。龍郷町では、11月7日(土)に開催されます。文化の一大イベントまで約1カ月。今月号では国文祭を紹介します。



経緯

平成23年12月22日に、鹿児島県での国文祭開催が内定しました。市町村や文化団体への実施事業意向調査や基本構想検討作業部会などを経て、平成24年7月31日に国民文化祭鹿児島県実行委員会設立総会・第1回総会を開催。県下一丸となり綿密な打ち合わせが行われているほか、カウントダウンイベントなど関連行事も展開しています。

テーマ曲

国民文化祭全体を印象づける曲として、鹿児島を代表する作曲家の吉俣良さんが制作しました。

イメージソング

奄美市笠利在住の2人組ユニット・カサリンチュによる「タイムカプセル」。老若男女が踊れる振り付けもあります。

奄美での活動

平成26年2月7日には、国文祭のPRキャラバンカーが奄美大島を駆け抜けました。龍郷町では、国文祭のマスコットキャラクター「ぐりぶー」も同行し、町内保育所を訪問。国文祭の成功を願い、楽しく触れ合いました。県内では110の特色あるプログラムを展開。そのうち、大島地区では18プログラムが催されます。



開会式・オープニングフェスティバル

メイン会場(鹿児島市)とサテライト会場(奄美市、西之表市)の3会場を中継で結びます。奄美会場の一人ひろばでは、各シマジマに根付く「八月踊り」を繰り広げ、全国に島の文化を発信します。開催日時は10月31日(土)午前11時~午後6時、場所は奄美文化センター一人ひろば。入場料は無料です。

【お問い合わせ先】099-286-2868(鹿児島県国民文化祭室県事業第一係)

西郷南洲翁の足跡と大島紬 ～龍郷町のプログラム①～

西郷南洲翁謫居跡があり、大島紬発祥の地である龍郷町。国文祭では、西郷南洲翁の足跡を辿るとともに、その意義と現代への功績を検証します。

「西郷柄」の名称もある大島紬の由来や関係についての講演などがあり、伝統工芸品としての歴史やその魅力を再発見・再認識する機会とし、次世代へ継承するとともに全国へ発信します。

日時：11月7日（土）午後1時半～午後5時 会場：体育文化センター りゅうゆう館



- ①西郷南洲翁の足跡と大島紬との由来や関係等についての講演・パネルディスカッションを行います。
- ②大島紬を使ったファッションショーを開催します。
- ③紬製品展示会を開催します。

【お問い合わせ先】

第30回国民文化祭龍郷町実行委員会事務局

(龍郷町教育委員会事務局内)

☎0997-69-4532

チェスト行け！提案事業

～龍郷町のプログラム②～

西郷松を使って自分だけのオンリーワンを作ろう

地域に根ざした特色ある文化芸術の充実などを図り、鹿児島県の文化振興に繋げるため、県民自らが企画する「チェスト行け！提案事業」。龍郷町では、西郷隆盛翁が奄美大島に流れ着いた際に船をつないだ『西郷松』（久場集落）の端材を使って、「彫る」「削る」「接着」などの作業を通して、世界に一つだけのオブジェを製作します。（後援：龍郷町、龍郷町教育委員会）



鹿児島大学教授で日展会員の池川直先生と有志教員、研究室の大学院・学部学生が製作をお手伝いします。費用は無料です。

日時：11月7日（土）午前10時～午後5時

会場：体育文化センター りゅうゆう館アリーナ

【お問い合わせ先】

主催：鹿児島大学教育学部彫塑研究室

☎090-1873-4553

西郷 思想・精神を学ぶ「志塾・西郷塾」

わたしたちも
盛り上げます！

龍郷町では、本町に縁のある西郷隆盛翁と愛加那、その家系を中心に歴史を学ぶ勉強会「志塾・西郷塾」が活動しています。老若男女約20名で活動する同塾は毎月2回、「研究・勉強」「交流」「顕彰」の3本柱に沿って学習を深めています。

国文祭当日（11月7日）は、南洲翁年表、家系図、紙芝居、かるた、足跡マップなどを、りゅうゆう館アリーナ内で展示します。

また、顕彰活動の一環として制作した手作り紙芝居「愛加那物語」は、広報たつごう巻末でも連載しており、今号で最終回を迎えます。



～ 最近の「まちの話題」～

「TATSUGO TOWN TOPICS」では、たつごうに関する話題を紹介し、町民の希望と笑顔いっぱいのシーンをご覧ください。

読者の皆様からの情報提供もお待ちしています。

龍郷町役場総務企画課 メール koho@town.tatsugo.lg.jp

☎ 0997-69-4512 FAX 0997-62-2535

龍郷町の人口

平成 27 年 8 月末現在

		前月比
世帯数	2,976	+7
人口	6,068	+15
男	2,935	+8
女	3,133	+7



表敬した湯脇さん(左から2番目)

10月に奄美初の試合 鹿児島ユナイテッドFC

「Jリーグ百年構想クラブ」に認定され、鹿児島県初のJリーグ入りを目指す鹿児島ユナイテッドFCが、10月25日(日)に奄美大島で公式試合を行います。同クラブ運営統括の湯脇健一郎さんが龍郷町役場を表敬訪問し、同試合をPRしました。

試合スケジュールなどについて、詳しくは同クラブホームページをご覧ください。

養老孟司氏が登壇「地域創生」特別講演会 「今、しあわせに生きるということ」

大正大学地域構想研究所が主体となる「広域地域自治体連携」に、龍郷・大和・宇検の3町村が加盟したことを記念した地域創生特別講演会が開かれました。多くの著書で知られる養老孟司氏(大正大学客員教授)が登壇し、幸せになるためのヒントを示しました。

テーマは「今、しあわせに生きるということ～これからの地域のあり方について考える～」。養老氏は、過去の来島時の思い出などを交えながら、時代の変化や人間の生死などについて持論を展開しました。



養老孟司氏



地域ボランティアに貢献しました

危険箇所にも柵設置 建設業者がボランティア

町内を流れる大美川と戸口川の河川改修工事を請け負う同工事安全協議会が、戸口校区の道路冠水解消に向けてボランティア作業を買って出ました。

同校区内の道路では、大雨で冠水する箇所があり、作業員らは県道沿いの排水溝の拡幅や側溝の落下防止用のフェンス取り付け等を行い、地域の安全向上に向けて汗を流しました。

白球追い親睦 壮年ソフトボール大会

町制施行 40 周年記念「第 41 回龍郷町壮年ソフトボール大会」が町中央グラウンドでありました。A～D パートに集落別 12 チームが出場。白球を追い、壮年パワーを発揮しました。

大会は 3 チーム 4 パートの総当たり戦であり、玉里、赤尾木 A、中勝、大勝がそれぞれ優勝しました。



大いに盛り上がったソフト大会



熱気にあふれたサーフィン大会

波に乗り魅了 手広でサーフィン大会

町制施行 40 周年記念のローカルサーフィン大会「AMAMIAN SURFING CLASSIC 2015」が手広海岸で開催されました。島内外から 94 名のエントリーがあり、全 9 クラスで力強いライディングを披露。押し寄せる波に乗り、熱戦が繰り広げられました。

また、大会後には音楽祭もあり、会場をにぎやかに演出しました。

教育環境の充実へ 宇検・大和と合同研修

平成 27 年度宇検村・大和村・龍郷町合同教育委員等研修会がありました。今年度は龍郷町が会場となり、各種研修などで教育行政の現状や課題を把握。各町村の情報を共有し、教育環境の充実に向けて意識を新たにしました。

事例発表では本町教育委員長の平義隆さんが登壇。学力向上のための共通実践事項などを示しました。



教育行政の充実を図った研修会



101 歳を迎えた晶納アキさん(赤尾木)

「長生きしんしょれよ」 敬老祝い金を贈呈

9 月 21 日は「敬老の日」。龍郷町は今年度も、地域を支える 80 歳以上の高齢者 7 5 2 名（9 月 1 日現在）に敬老祝金を贈呈しました。そのうち、90 歳以上には徳田康光町長が「いつまでも長生きしんしょれよ」などと声をかけ、手渡ししました。

本町では 7 5 2 名のうち、90 歳以上 2 1 1 名、1 0 0 歳以上 12 名の方が元気に暮らしています。

クワウサギ事故防止

運転にはゆとりを、生きものたちには思いやりを。9～10月はアマミノクワウサギ交通事故防止キャンペーン期間です。

アマミノクワウサギは、世界中で奄美大島と徳之島の森だけに生息している、とても希少な動物です。一方で、毎年多くの個体が交通事故で死亡しているという悲しい現実もあります。

ゆとりのある運転を心がけ、生きものたちを思いやりましょう。

◎龍郷町はアマミノクワウサギの生息域が狭く、個体数も多くはありません。

◎毎年9～12月頃に事故発生数が増加します。



◎地図の要注意区間では、アマミノクワウサギが活動する夜間は注意し、特に林道ではゆつくり走行をお願いします。

※ケガをしていたり、死んでいるアマミノクワウサギを発見したら、環境省奄美野生生物保護センターまでご連絡ください。

☎0997・55・8620

10月は「土地月間」

土地は国民のための限られた貴重な資源です。将来の子供たちのため、明日の豊かな暮らしのためにも土地の有効利用が大切です。

一定面積以上の土地取引には、国土利用計画法に基づく届出が必要です。届出は契約を結んだ日から2週間以内に、土地の所在する市町村役場の国土利用計画担当窓口へ届け出てください。

【事後届出制】

●届出者

土地の権利取得者（買主）

●届出に必要な土地取引

売買、交換、営業譲渡、譲渡

担保、代物弁済、地上権・賃借権の設定・譲渡

●土地取引の規模（面積要件）
ア 市街化区域2千㎡以上
イ アを除く都市計画区域

ウ 都市計画区域以外区域
5千㎡以上
1万㎡以上

※届出をしなかったり、偽りの届出をすると、6カ月以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられることがあります。

▼問い合わせ先

龍郷町役場土地対策課

☎0997・69・4528

県庁地域政策課土地対策係

☎099・286・5529

公証週間

10月1～7日は「公証週間」です。遺言や各種契約書は公正証書で作成しましょう。

近年、遺産相続をめぐる争いや、金銭、老後の財産管理をめぐるトラブルが増加しています。遺言や養育費の支払い、金銭消費貸借、土地・建物の賃貸借契約、任

意後見契約など、遺言や大切な各種契約を公正証書で作成することによって、これらの紛争を未然に防止し、あなたの財産や権利を守ることが出来ます。

名瀬公証人役場では、公証週間（月～金）は午後7時まで相談時間を延長します。相談は無料です。当役場での相談を希望する方は、電話での予約をお願いします。また、電話での相談も受け付けます。

▼問い合わせ先

名瀬公証人役場
（奄美市名瀬幸町12番22号）

☎0997・52・2661

看護職再就業支援

ブランクがあり再就業に不安をお持ちの看護職の方が、無理なく復職していただけるよう、再就業のためのセミナーを開催します。

▼日程

※実習施設は選べます

講義 平成27年11月10日～11日

実習 平成27年11月16日～20日

▼会場

A・i・A・i・ひろば
（奄美市名瀬末広町）

▼受講資格 現在就業していない、または再就業1年未満の看護職（看護師・准看護師・保健師・助産師）

▼受講料 無料（資料代等2千円）

▼申込期間

平成27年9月14日～10月20日

▼その他 講義日のみ託児を実施します。ご希望の方は事前にお申し出ください。

▼申し込み・問い合わせ先

鹿児島県看護協会鹿児島県ナースセンター（〒890-0064 鹿児島市鴨池新町21-5）

メール kagoshima@nurse-center.net
☎099-256-8025

アルコール依存回復へ

AAあまみアダングループは、オープンスピーカースミューティングを開催します。

AAとは「アルコール依存症者たち」の略称。自らの飲酒に問題があり、その飲酒のとりわれから回復しようという人たちの

自助グループです。「酒をやめたいという願いがあふ」ということだけがメンバーの条件であり、それ以外の事は一切問われません。

ミーティングのテーマは「アルコール依存症は回復できる病気です！」。かつての問題飲酒者である私たちがどうやって飲酒へのとりわれから解放されてきたか、メンバーがそれぞれの体験を語ります。また、専門家の先生、行政関係者の講演などもあります。

お酒の問題で悩んでいる本人、家族、医療・福祉・保健・教育・更生保護・他関係者、その他関心のある方はどなたでも参加できます。多くの方のご来場をお待ちしています。

▼日時

平成27年10月24日（土）

午後1時10分～午後4時40分

▼会場

名瀬公民館金久分館2階研修室
（奄美市名瀬長浜町）

▼講演

佐藤伸一郎氏（奄美病院精神科医師）「奄美における飲酒問題」

▼講話

鶴木すえ子氏（県大島支庁地域保健福祉課技術補佐兼地域支援係長）「飲酒問題と社会資源」

▼参加費 無料

▼お問い合わせ

AAあまみアダングループ（求）

☎090-3400-7461

AA九州沖縄セントラルオフィス
メール koo@p04.synapse.ne.jp

☎・FAX

099-248-0057

奄美・西陣コラボ展

本場奄美大島紬協同組合は、今年も「奄美・西陣コラボレーション展」を開催するため、新商品の出品を募集しています。大島紬や西陣の生地を使って、新しい洋服や小物を出品してみませんか？

▼部門

① 衣装 ② 小物 ③ インテリア



▼出品制限 1人2点以内

▼募集期間

平成27年10月30日（金）

▼作品申込先 本場奄美大島紬協同組合（奄美市名瀬港町15番1号）

▼審査発表・授賞式

平成27年11月19日（木）

▼問い合わせ先

本場奄美大島紬協同組合

☎0997-52-3411

龍郷町役場産業振興課

☎0997-69-4523

農作業事故ゼロ運動

農作業が忙しくなる9月から10月は農作業事故の起きやすい時期です。農作業事故を起こさないよう安全対策に努めましょう。

▼秋の農作業事故ゼロ運動スローガン「毎日1人は農作業事故で亡くなっているんだよ！」～「少しでも大丈夫」を「少しでも要注意」へ～

▼重点啓発事項「日々変化する作業環境をチェックしよう」

▼啓発事項

①ゆとりをもった無理のない農作

業を計画し、農業機械の操作に十分注意する。

② 農業機械や作業場所は、事前の点検・整備を徹底し、点検・整備の際は、必ずエンジンを止める。

③ 出かける際は、家族等に一声かけ、携帯電話を忘れない。

④ 農業機械の運転は、進入路や路肩、あゆみ板など段差のある場所に注意して転落・転倒に気を付ける。

⑤ 乗車時は必ず安全フレームを適正に装着して、シートベルトを着用する。また、巻き込まれ事故を防ぐため服装に留意する。

⑥ ほ場作業以外は左右ブレーキペダルを連結し、農作業中の降車時は、必ずエンジンを止め、ブレーキで固定する。

⑦ 農業機械の取り扱いには安全チェックを徹底し、事故頻度が高い動力刈払機は安全使用を心がける。

⑧ 耕うん機による挟まれ事故を防ぐため、作業場所の安全性を確認するとともに、いつでも緊急停止できるようにしておく。

◎ 万が一の農作業中の災害に備え、労災保険等に加入する。

※ くれぐれも、「自分だけは大丈夫」「いつもと同じ作業だから大丈夫」と思わずに、ゆとりをもって、無理のない農作業に心がけましょう。

被用者年金一元化

平成24年8月に成立した「被用者年金一元化法」により、平成27年10月1日から、これまで厚生年金と3つの共済年金に分かれていた被用者年金制度が厚生年金制度に統一されます。

◎ 平成27年10月以降、厚生年金の決定・支払いは、従来どおり、厚生年金被保険者期間分は日本年金機構、共済組合等加入期間分については各共済組合等で行います。

◎ 厚生年金に関する届書等(※注)は、日本年金機構(年金事務所)または各共済組合等の窓口でも受け付けします(ワンストップサービス)。

(※注) ① 平成27年10月以降に受給権が発生した厚生年金に限りま

す。② 障害給付の届書等の一部の届書を除きます。

▼ 問い合わせ先

龍郷町役場町民税務課年金係
☎ 0997-69-4517

民児委員選任

瀬留集落の民生委員・児童委員として、上原昭二さんが選任されました。民生委員・児童委員は、誰もが安心して暮らしやすい地域社会を作るために皆さんの身近なところで相談・支援を行っています。

また、地域住民の要望を関係機関に伝えるとともに、一人暮らしの高齢者や障害者等の訪問、相談など、住民が安心して暮らせるような支援を行います。



▼ お問い合わせ

龍郷町役場保健福祉課
☎ 0997-69-4514

行政相談週間 10月19日(月)～25日(日)

行政相談週間行事の一環として、下記の通り「行政相談所」を開設します。本町の行政相談委員は、窪島将公くぼしまさきみさん=写真=です。日々の暮らしの中で「どこにどのように相談・要望したらいいの?」とお困りの方は、行政相談委員に相談してみてもいいでしょうか? 相談は無料で、秘密は固く守られます。

連絡先 ☎ 62-3722

= 行政相談所 =

【日時】 10月21日(水) 午後1～4時

【場所】 龍郷中央公民館 第一研修室



国民健康保険 限度額適用認定証について

医療費が高額になったときに支払いを限度額までにするためには、医療機関の窓口で、保険証と一緒に「限度額適用認定証」（住民税非課税世帯の人は「限度額適用・標準負担額減額認定証」）の提示が必要です。

医療費が高額になる場合は、忘れずに国保担当窓口で認定証の交付申請をしてください。

保険税（料）を滞納していると交付されない場合があります。

認定証の有効期限は、申請した月の初日から平成28年7月31日までとなります。

限度額適用認定証を

- ・提示する場合→窓口での支払いが限度額までになります。
- ・提示しない場合→窓口で3割の自己負担分をいったん支払い、あとから申請により支給されます。

※自己負担限度額（月額）

所得要件	区分	3回目まで	4回目以降
基礎控除後の総所得金額が901万円超	ア	252,600円 + (総医療費 - 842,000円) × 1%	140,100円
基礎控除後の総所得金額が600万円超 901万円以下	イ	167,400円 + (総医療費 - 558,000円) × 1%	93,000円
基礎控除後の総所得金額が210万円超 600万円以下	ウ	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1%	44,400円
基礎控除後の総所得金額が210万円以下 (住民税非課税世帯を除く)	エ	57,600円	44,400円
住民税非課税世帯	オ	35,400円	24,600円

申請先・お問い合わせ先
龍郷町役場 保健福祉課 国民健康保険係
電話：0997-69-4514



引っ越しをする
皆さんは

住民票の異動も
忘れずにね!

マイナンバー

10月から、あなたにも

マイナンバー(12桁の個人番号)が通知されます。

◎平成28年1月から、社会保障・税・災害対策の行政手続で、マイナンバーが必要になります。
※行政の効率化や国民の利便性向上のため、平成29年1月から行政機関などでの情報連携が順次始まる予定です。※外国籍でも住民票のある方は対象となります。

3つの
メリット

国民の利便性の向上
面倒な行政手続が簡単に

行政の効率化
行政手続を正確に

公平・公正な社会の実現
給付金などの不正受給の防止

住民票の住所に通知が届きます。
今お住まいのところへ、住民票の異動をお願いします。

マイナンバー制度お問合せは

マイナンバー

検索

マイナンバー
0570-20-0178 (全国共通
ナビダイヤル)

※一部IP電話等で上記ダイヤルに繋がらない場合は、050-3816-9405におかけください。

マイナンバーは、法律で定められた目的以外での利用、他人への提供が禁じられています。

◎法人には法人番号が通知されます。
※平成27年10月から、法人には1法人1つの番号(13桁)が指定され、登記上の所在地に通知されます。
(法人の支店・事業所等や個人事業者の方には指定されません。)

平成27年10月以降に「マイナンバー」の通知が始まり、住民票が登録されている住所へ「マイナンバー通知カード」が書留で送付されます。「マイナンバー通知カード」を正しく受け取るためにも正確な住民票の登録をしてください。平成28年1月から、申請に基づき「マイナンバーカード」(顔写真付きの身分証明書としても使えるもの)の交付が予定されています。

※通知カードはマイナンバーカードを申請する際に必ず必要となりますので、絶対に紛失しないよう大切に保管してください。

※紛失した場合の再発行は有料となります。

【問い合わせ先】 町民税務課住民基本台帳係 ☎0997-69-4519

10月行事予定表

日	行事名等	時間	場所
1 (木)	結核検診	集落で異なる	各集落
2 (金)	結核検診	集落で異なる	
	でいでいクラブ	13:30～	どうくさあや館
5 (月)	まんげらん体操教室	13:30～	嘉渡公民館
8 (木)	3歳児健診	13:00～	どうくさあや館
9 (金)	かめのこクラブ	10:00～	
	でいでいクラブ	13:30～	
11 (日)	第56回龍郷町民体育大会	8:40～	町中央グラウンド
16 (金)	でいでいクラブ	13:30～	どうくさあや館
19 (月)	まんげらん体操教室	13:30～	嘉渡公民館
21 (水)	たつごう在宅家族の会	14:00～	町中央公民館
22 (木)	乳児健診	12:30～	どうくさあや館
23 (金)	でいでいクラブ	13:30～	
30 (金)	でいでいクラブ	13:30～	

※行事は変更になる場合があります。あらかじめご確認ください。

午前	7(水)	13(火)	21(水)	22(木)
	赤尾木	嘉渡	円	龍郷

場所：各集落公民館など 時間：午前9時半，午後2時

午後	1(木)	2(金)	5(月)	6(火)	7(水)	
	手広・瀬留	安木屋場	芦徳	上戸口	円	
	8(木)	9(金)	10(土)	13(火)	14(水)	
	龍郷	大勝	玉里	秋名・幾里	中戸口	
	15(木)	16(金)	19(月)	21(水)	22(木)	27(火)
	瀬留・安木屋場	川内	浦	赤尾木	大勝	嘉渡

高年齢者の健康増進を目的として
しています。お気軽にご参加
ください。
※当日の時間は放送
等でご確認ください。

10月づくりな会

お誕生おめでとうです

【8月届出】 保護者名 (敬称略)

岩田 あかり 浩志 浦
板坂 夏葵 直樹 中勝
豊山 蒼斗 浩康 手広
下川 佳純 満 大勝

いよいよ福をお祈りいたします

【8月届出】 (敬称略)

中川 ヒロエ (102) 嘉渡(龍郷の里)
稲村 龍子 (88) 玉里
村田 慶藏 (93) 円
重田 ソエ子 (85) 秋名
宮口 リン子 (96) 赤尾木
新貝 美枝子 (40) 浦 (ワークセン
ター奄美)

香典返しお礼

・重田義光さん (故重田ソエ子さん)
秋名集落、秋名老人クラブ稲穂会
幾里老人クラブ稲葉会
・岩切順夫さん (故岩切タツさん)
瀬留集落
【社会福祉協議会】
・稲村正興さん (故稲村龍子さん)
・村田貞枝さん (故村田慶藏さん)

10月法律相談

奄美市と鹿児島県弁護士会が共同で「奄美法律相談センター」を開設しており、龍郷町民も無料で相談することが出来ます。※電話予約が必要です (先着順)

▼8日(木) 午後1～4時半
▼15日(木) 午前9時半～11時半
▼22日(木) 午前11～12時
午後1～3時半
◇ひとり30分(続けるの申し込みはご遠慮ください)
【お問い合わせ先】
奄美市役所市民協働推進課市民生活係 ☎1715・1716

玉黄金

9月

満一歳になりました。
 この子たちに誇れる町を
 みんなでつくりましょう。



とみなが しゅか
 富永 朱香 ちゃん
 H 26. 9. 11 生
 父 信雄 / 母 史子 芦徳



こが かんた
 古賀 幹大 くん
 H 26. 9. 9 生
 父 満 / 母 優子 龍郷



しらいわ せいな
 白岩 聖華 ちゃん
 H 26. 9. 30 生
 父 正広 / 母 千恵美 芦徳



もりやま だいごろう
 森山 大護郎 くん
 H 26. 9. 28 生
 父 豊生 / 母 博美 赤尾木



べっぶ しゅうま
 別府 秀真 くん
 H 26. 9. 27 生
 父 秀和 / 母 るみ子 芦徳



よしむら るい
 吉村 瑠彩 ちゃん
 H 26. 9. 20 生
 父 宏幸 / 母 沙代 大勝

創作紙芝居「愛加那物語」は、小学生の子どもたちが郷土の歴史を学ぶ一助になればと制作されたものです。西郷隆盛（南州）の妻で、龍郷町名誉町民の西郷菊次郎氏の母である「愛加那」を顕彰するシリーズの最終回です。



志 西郷南州翁の足跡 9

「愛加那物語」

志塾・西郷塾文
 瀬戸口 広人 絵



① 愛加那が62歳のとき、愛加那の家
 の庭に西郷隆盛を讃えた記念碑が建てられました。愛加那もりぼんを付け式典に参加しました。記念碑を眺めながら

「私も年をとりました。子どもたちも大人になりました。あなたと長くは暮らせなかつたけれど、私は幸せでした。どうぞ安心してくださいね。」

まるでそこに源吾がいるように話しかけるのです。

その頃の奄美の女の人は旦那さんが亡くなると、また他の家へお嫁に

行く人が多かったのですが、愛加那はずっと源吾と子どもたちのこととを思っていました。
 ② それから4年後の夏の暑い日、愛加那は畑仕事の中に、たおれて亡くなりました。66歳でした。

愛加那は本龍郷の龍・田畑家の墓地である弁財天に葬られました。女の人であるということと墓石もありませんでした。

昭和5年、孫の西郷隆治さんが墓碑銘を書き、墓石を建てました。そこには龍愛子と刻まれています。

|| 終わり ||

